



玉名市まちなか▶未来プロジェクト

市民拡大ワークショップ

第1回:みんなで考えよう!まちなかの「みらい」
(令和6年9月28日実施)

各班発表まとめ、感想カード集計結果報告

2024/10/08

日時:令和 6 年 9 月 28 日 13 時 30 分～16 時

場所:玉名市民会館会議棟 第 1 会議室

参加者数: 48人

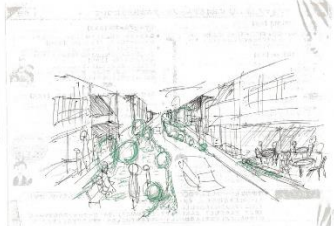
プ ロ グ ラ ム

13:30	開会 挨拶	玉名市長(玉名市建設部長)
13:40	ミニ講演 ・市民と行政が共に創るまちなかの未来 (ビデオメッセージ) 話題提供 ・データから読み解く まちなかの過去・現在・未来	熊本県立大学環境共生学部 柴田 祐 教授 日本工営都市空間(株) 岩本 治
13:50	まちなかランドデザインたたき台のご説明	玉名市まちなか未来プロジェクトチーム
14:05	休憩	
14:15	グループワーク ・「やりたいことが実現した 理想の玉名のまちなかでの過ごし方」 (まちなかの各エリアでの理想の過ごし方をテーブルに分かれて議論し、 将来像をまとめます。)	
15:20	グループ発表	
16 時	閉会	

第1回拡大ワークショップ 2. グループワーク各班発表まとめ

エリア名	玉名駅	
キャッチフレーズ	駅は人との交差点	
エリアの理想の過ごし方	◎学生・社会人が多く集うエリア ・駅を起点とした”まちあるき” ・多世代交流ができる学びのスペース ・南北アンダーパスを地下街、学生、社会人エリアをそれぞれ作る(オープンカフェ、ミニ図書館、屋台村)	
参考図	■プレゼンシート テーブル番号: <u>A</u> 玉名駅・駅通り・高瀬・新玉名駅 温泉・蛇ヶ谷・文教 ※該当のエリアに○を付けてください  玉名市まちなか未来プロジェクト 市民協大ワークショップ エリアの “理想の過ごし方” ※エリアの理想の過ごし方を、文章やイラストなどで自由に表現しましょう ◎ 学生・社会人が多く集うエリア ・駅を起点とした”まちあるき” ・多世代交流ができる学びのスペース ・南北アンダーパスを地下街 学生、社会人エリアをそれぞれ作る (オープンカフェ、ミニ図書館、屋台村) キャッチフレーズ 駅は人との交差点 2024/09/28	
発表内容	私たちは玉名駅のエリアについて考えたが、キャッチフレーズは「駅は人との交差点」である。学生や社会人が多く集まるエリアであるため、ここでしか得られないものがあると感じた。 例えば、駅を拠点としたまち歩きや、多世代が交流する学びのスペースなどがあると良いと考えた。いろいろな趣味を持った人が学びを広げていけるのではないかなと思う。 駅南北のアンダーパスを地下街にして、学生エリアや社会人エリアをそれぞれ作ったり、駅の周辺にオープンカフェやミニ図書館、屋台村を設けることで、通勤通学の時間もより楽しめるような動きが生まれるのではないかなという話し合いを行った。	

第1回拡大ワークショップ 2. グループワーク各班発表まとめ

エリア名	駅通り	
キャッチフレーズ	外に出れる	
エリアの理想の過ごし方	昼ごはん、朝ごはん、 空き家活用→スポーツバー(野球)、バスの巡回(松本、六田ルート) 高架下の渋滞→旧 208 へぬける 音楽を楽しめる、長居ができる、中高生がくつろげる場へ ○住み心地のいい通りへ	
参考図	■プレゼンシート テーブル番号: B 玉名駅・<u>駅通り</u>・高瀬・新玉名駅 温泉・蛇ヶ谷・文教 ※該当のエリアに○を付けてください  昼ごはん、朝ごはん、 空き家活用→スポーツバー(野球) バスの巡回(松本、六田ルート) 高架下の渋滞→旧 208 へぬける 音楽を楽しめる、長居ができる 中高生がくつろげる場へ 外に出れる 2024/09/28	
発表内容	玉名駅前の駅通りについてであるが、まず、昼食や朝食を食べる場所が全くないため、そういった場所が必要である。また、空き家を活用したスポーツバーがあると良い。 次に、バスについてである。松本地区の方が参加されていたが、循環バスが通っておらず、病院が多いにもかかわらず、おじいちゃんやおばあちゃんがタクシーで移動している状況である。循環バスが必要である。 さらに、高架下の渋滞も問題である。 玉名市は音楽の都であるため、音楽を楽しめる長居できる場所があると良い。 また、中高生が多いため、中高生がくつろげる場所として、外に出やすく住み心地の良いまちになることが望ましい。商店街についてであるが、商業の場というよりも、みんなが居心地良く過ごせる場所になることが理想である。駅通りの片方が公園のようになっていて、みんながくつろげるような場所があると良い。 現在、商店街には住んでいる人がほとんどおらず、おじいちゃんやおばあちゃんが住んでいても、その姿が見えないようなまちになっている。そうではなく、お祭りなどを通じてまちに人が溢れ、おじいちゃんやおばあちゃんが高校生と一緒に過ごしている姿が理想である。	

第1回拡大ワークショップ 2. グループワーク各班発表まとめ

エリア名	高瀬①	
キャッチフレーズ	玉名のずーっと満喫エリア	
エリアの理想の過ごし方	人: 家族、市外から来た人 施設: 飲食店、駐車場、公園、高瀬裏川 どんな: 食べ歩き、四季折々の裏川、ラーメン	
参考図	■プレゼンシート テーブル番号: C 玉名駅 ・ 駅通り ・ <u>高瀬</u> ・ 新玉名駅 温泉・蛇ヶ谷 ・ 文教 ※該当のエリアに○を付けてください エリアの “理想の過ごし方” ※エリアの理想の過ごし方を、文章やイラストなどで自由に表現しましょう 人 : 家族, 市外から来た人 施設: 飲食店, 駐車場, 公園, 高瀬裏川 どんな: 食べ歩き, 四季折々の裏川, ラーメン キャッチフレーズ ずーっと 玉名の満喫エリア 2024/09/28	
発表内容	高瀬エリアには現在も素晴らしい商店が多く存在しているが、今後どのように発展させていくかについて話し合った。まず、食べ歩きができる飲食店についてである。半日でも時間を潰せるような場所が必要であるという意見が出た。具体的には、カフェやキッズルームが併設されたカフェ、玉名市ならではの食材を使った飲食店、フルーツやスイーツの店などが挙げられた。 また、駐車場が少ないという問題もあり、災害時にも車を置ける立体駐車場や、公園でゆったりと過ごせる場所、休憩できる場所も必要であるという意見が出た。 他には、仕事帰りにふらっと立ち寄って露店や夜市で買い物ができる場所や、菊池川でのアクティビティ(SUP など)があると良いという意見もあった。また、菊池川の歴史が分かるような水族館や淡水魚の水族館など、子供たちでも楽しめる場所があると良いと考えた。 これらの場所は、家族や市外から来た観光客にとっても魅力的であり、友達が遊びに来た時にも紹介できる場所になると考えた。	

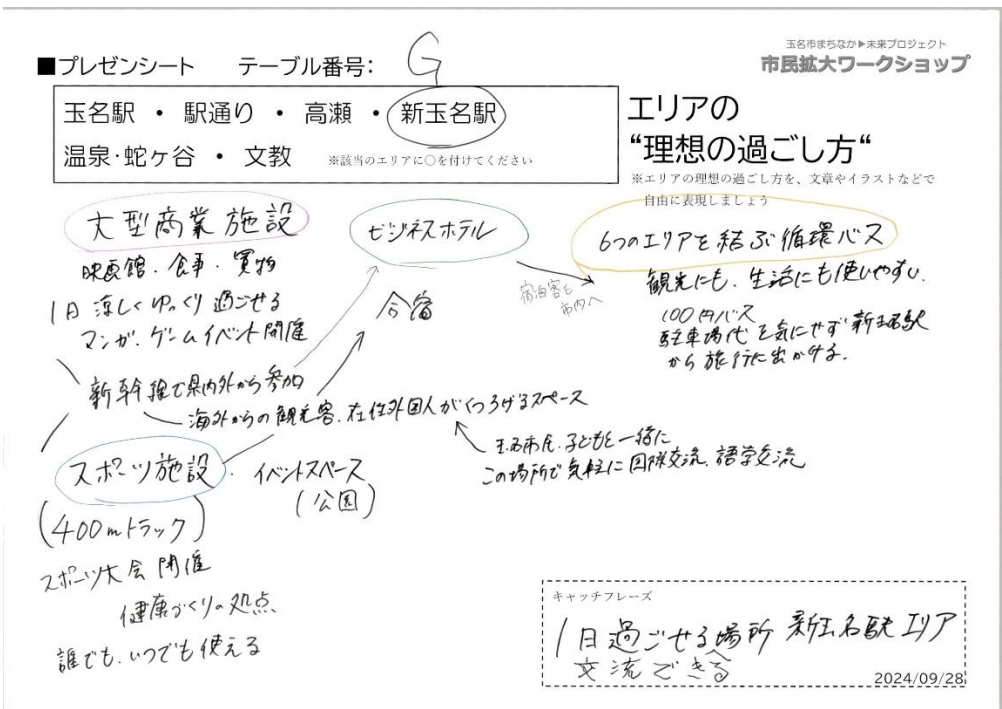
第1回拡大ワークショップ 2. グループワーク各班発表まとめ

エリア名	高瀬②	
キャッチフレーズ	未来の玉名を高瀬から発信！！	
エリアの理想の過ごし方	◎高瀬の資源を使いこなす。(菊池川、裏川、市民会館跡など) ◎多世代・多様な人々が集まる街(若い人が着物、外国人) ◎街のソフト面、コンテンツが充実している(イベント、教育、体験 VR)	
参考図	■プレゼンシート テーブル番号: D 玉名駅・駅通り・高瀬・新玉名駅 温泉・蛇ヶ谷・文教 ※該当のエリアに○を付けてください エリアの“理想の過ごし方” ※エリアの理想の過ごし方を、文章やイラストなどで自由に表現しましょう ◎高瀬の資源を使いこなす。(菊池川、裏川、市民会館跡など) ◎多世代・多様な人々が集まる街(若い人が着物、外国人) ◎街のソフト面、コンテンツが充実している(イベント、教育、体験 VR) キャッチフレーズ 未来の玉名を高瀬から発信!! 2024/09/28	
発表内容	1 つ目は高瀬の資源を活用することである。個人的意見としては、孫を連れて散歩しているが、今年の夏はとても暑く、どこにも連れて行く場所がなかった。この市民会館跡地を何かに利用できないかと考えている。噴水やプールがあれば、孫たちが遊ぶ姿を想像でき、皆が集まってくれるだろう。子供たちにとっても良い場所になると夢見ている。 高瀬の資源を活用するという点では、このメンバーだけでも多くの案が出た。使いたい人と使える場所がマッチングされていない現状があるため、もっとライトな形でマッチングできるようにすることが重要である。 2 つ目は、多世代・多様な人々が集まる街についてである。例えば、若い人が希望するように、外国人が着物を着て歩ける場所があれば良いと考える。そういった意見を聞いた時に、皆が興味を持ち、街が栄えるのではないかなと思った。 3 つ目は、街のソフト面、コンテンツの充実についてである。多世代・多様な人々が集まる場所として、子供たちが高瀬のまちで遊んでいる姿を想像する。また、新しいものを作ることも必要だが、いかに使うか、過ごせる空間を作るかが重要である。高瀬でどんな経験ができるかを考えたい。仮想空間での交流もテーマとなるため、「VR 玉名」などを作り、リアルの方で行きづらい人たちも交流できるようにすることが面白いと考える。 高瀬から新しいことをどんどん発信し、発展していく街にしていきたい。新しいことにチャレンジするエリアになることを目指している。	

第1回拡大ワークショップ 2. グループワーク各班発表まとめ

エリア名	温泉・蛇ヶ谷	
キャッチフレーズ	観光客がうらやむエリア	
エリアの理想の過ごし方	市民が利用しているところを、観光客が見てうらやむエリア 1日だらだら過ごせる。飲食店、温泉街の明かり 親が行きたくなる公園	
参考図	■プレゼンシート テーブル番号: E 玉名駅・駅通り・高瀬・新玉名駅 温泉・蛇ヶ谷・文教 ※該当のエリアに○を付けてください 市民が利用しているところを、 観光客が見てうらやむエリア 1日だらだら過ごせる。 飲食店、温泉街の明かり 親が行きたくなる公園 エリアの “理想の過ごし方” ※エリアの理想の過ごし方を、文章やイラストなどで自由に表現しましょう キャッチフレーズ 観光客がうらやむエリア 2024/09/28	
発表内容	最終的には、蛇ヶ谷・温泉エリアを、市民が日頃利用している場所でありながら、観光客が見て羨ましく思い、訪れたくなるようなエリアにしたいと考えている。そのため、サブタイトルとして「1日だらだら過ごせるエリア」にしたい。 例えば、飲食店や家族で温泉を利用する際、長湯をする人がいる一方で、早く上がってくる人がどうやって時間を過ごすかを考える必要がある。そのため、空き家を利用したミニ図書館など、休憩できる場所があると良い。 また、朝から夜まで、夜になると街灯や足元の灯りが非常に重要である。これにより、夜も飲食を楽しむことができる。 蛇ヶ谷公園については、親たちが楽しめるように、子供たちは長いスライダーなどの遊具で楽しんでいる。子供たちが遊んでいる間、親たちがどう過ごすかが課題である。例えば、飲食店やカフェがあると、親たちも遠くで子供が遊んでいるのを見ながら時間を過ごせるようになり、親たちも連れて行きたくなる場所になる。 蛇ヶ谷温泉と温泉エリアをつなぐ道路については、自動車での移動が想定されるが、遊歩道や案内板を設置して歩いてもらうことで、相互利用が進むと考えられる。 現在、熊本市の大学生も週末に足湯を利用している。若い人たちに来てもらうためには、玉名温泉の特徴をしっかりとPRする必要がある。また、若者向けに学生割引があれば、看護大学の学生も帰宅途中に温泉に立ち寄ることができるだろう。	

第1回拡大ワークショップ 2. グループワーク各班発表まとめ

エリア名	新玉名駅	
キャッチフレーズ	1日過ごせる・交流できる場所 新玉名エリア	
エリアの理想の過ごし方	○大型商業施設 映画館、食事、買い物 1日涼しくゆっくり過ごせる マンガ、ゲームイベント開催 新幹線で県内外から参加ー海外からの観光客、在住外国人がくつろげるスペース ↑玉名市民、子どもと一緒にこの場所で気軽に国際交流、語学交流 ○スポーツ施設(400mトラック)、イベントスペース(公園) スポーツ大会開催 健康づくりの拠点 誰でも、いつでも使える 合宿 ⇒○ビジネスホテル 宿泊客も市内へ ⇒○6つのエリアを結ぶ循環バス 観光にも、生活にも使いやすい。 100円バス 駐車場代を気にせず新玉名駅から旅行に出かける	
参考図	■プレゼンシート テーブル番号: G 玉名駅・駅通り・高瀬・新玉名駅 温泉・蛇ヶ谷・文教 ※該当のエリアに○を付けてください エリアの“理想の過ごし方” ※エリアの理想の過ごし方を、文章やイラストなどで自由に表現しましょう  2024/09/28	
発表内容	まず、私たちは新玉名駅エリアに今後できてほしい3つの施設を考えた。それは、大型商業施設、スポーツ施設、ビジネスホテルの3つである。 まず、大型商業施設についてである。映画館や食事ができる場所、買い物ができる場所があり、1日ゆっくり過ごせるような場所が理想である。また、熊本といえば『ONE PIECE』などの漫画が有名であるため、そういったイベントを商業施設で開催すると、新幹線で県内外からの参加も見込めると考える。	

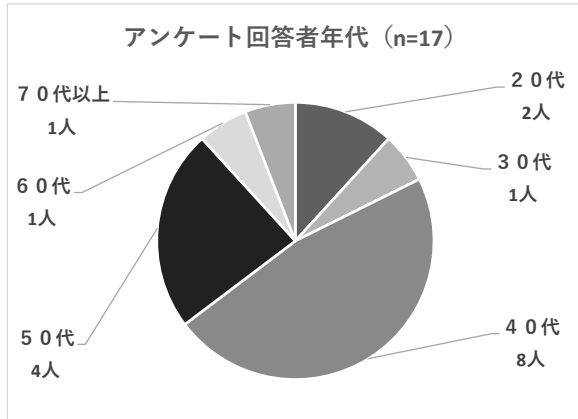
第1回拡大ワークショップ 2. グループワーク各班発表まとめ

	さらに、商業施設内に海外からの観光客や在住外国人が過ごしやすいスペースを設け、語学交流ができる場所があると良い。 次に、スポーツ施設についてである。400メートルトラックを活用した広いスペースがあり、スポーツ大会を開催したり、誰でもいつでも使える施設を作ること、健康づくりの拠点としても活用できると考える。 最後に、ビジネスホテルについてである。スポーツ施設を利用する人々や、商業施設を利用する人々が宿泊できる場所があると良い。 新玉名駅エリアの課題としては、アクセスが不便である点が挙げられる。6つのエリアを結ぶ循環バスを導入することで、観光客や住民が利用しやすくなると考える。また、100円で乗れるバスがあれば、さらに多くの人が利用しやすくなるだろう。
--	--

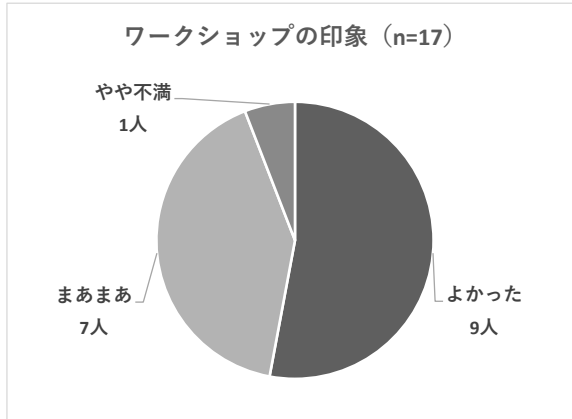
第1回拡大ワークショップ 2. グループワーク各班発表まとめ

エリア名	文教	
キャッチフレーズ	安心してみんなが集えるスペース	
エリアの理想の過ごし方	・犬の散歩 ・酒がのめる ・高齢者が集える ・子どもが安心して遊べる(玉東のオレンジ公園みたいな) ・壁で仕切られていないオープンなスペース ・防災の拠点 ・噴水	
参考図	■プレゼンシート テーブル番号: I 玉名駅・駅通り・高瀬・新玉名駅 温泉・蛇ヶ谷・文教 ※該当のエリアに○を付けてください エリアの “理想の過ごし方” ※エリアの理想の過ごし方を、文章やイラストなどで自由に表現しましょう 犬の散歩 酒のめる 高齢者が集える 子どもが安心して遊べる(玉東のオレンジ公園みたいな) 壁で仕切られていないオープンなスペース 防災の拠点 噴水 キャッチフレーズ 安心してみんなが集えるスペース 2024/09/28	
発表内容	文教エリアでは「安心してみんなが集えるスペース」という方向に話がまとまっていった。 みんなの理想的な生活の仕方を考えると、出てきた意見は多岐にわたる。例えば、犬の散歩ができる空間や、お酒が飲める場所、高齢者が運動できる場所、子供を連れて遊びに行ける場所などである。当初は建物の話を中心かと思っていたが、次第にスペースの話に変わっていった。安心してみんなが集い、自分のしたいことができるスペースが求められているという結論に至った。 商業施設のような建物の話にはならず、自分のやりたいことが安心して実現できる場所が必要であるという意見が多かった。病院についても、そのエリアにあれば良いという話でまとまった。	

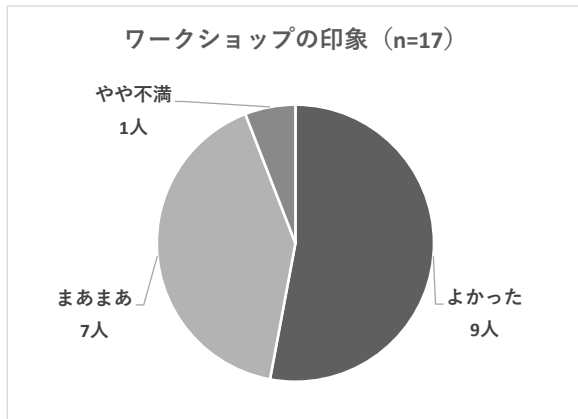
1. 回答者属性



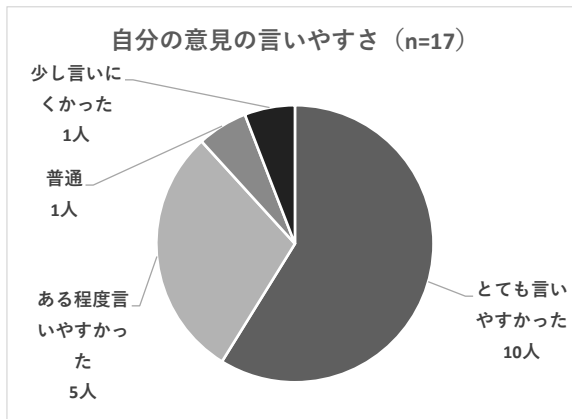
2-1. ワークショップの感想(印象)



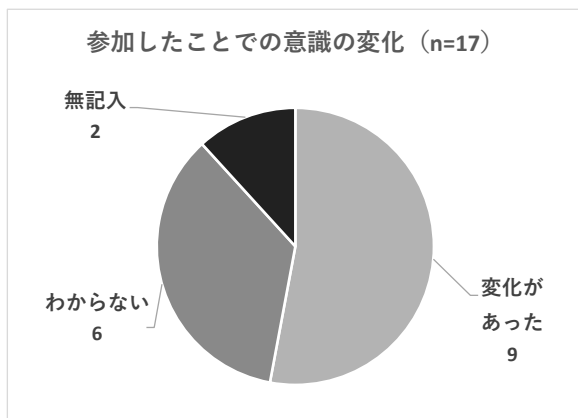
2-2. ワークショップの感想(説明のわかりやすさ)



2-3. ワークショップの感想(自分の意見の言いやすさ)



2-3. ワークショップの感想(参加したことでの意識の変化)



【変化があったこと】

- もっとこんなふうに意見を出し合う場があったら、参加したいと思いました。
- 人の流れをイメージすることの大切さ
- 市役所の方と話ができて良かった
- 他の人の意見が聞けた
- 自分では考えつかなかった意見も聞くことができた
- 価値観が広がった
- 思い込みがあることに気づかされた

第1回拡大ワークショップ 3. 参加者アンケート結果

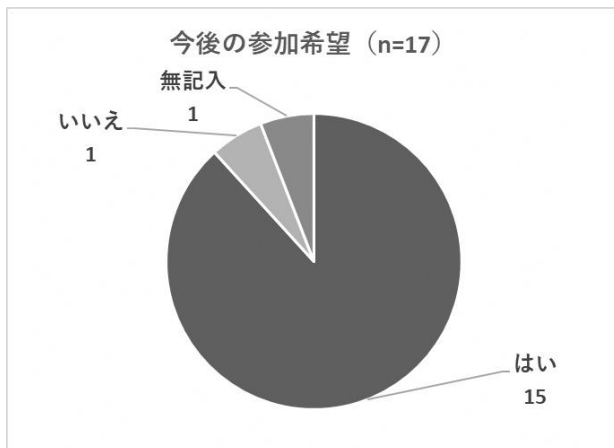
3. 2-1~2-3 を選択した理由やご意見

● ワークショップの意義やここにいたるまでの経緯をていねいに説明いただいたこと、班の皆さんがすごくよく話をきいて下さったから
● 近所で良く通行するから
● 市役所職員さんがいらっしゃるのは、めちゃくちゃ良いなと思いました
● 他に人と視点が違って楽しめた
● 参加者が少し少なかった
● 市民参加者がもっと多いとよかった
● 私が住みたい町に住みたい。若い人が家庭を持ちたいと思う玉名にしたい
● そのエリアを通ったり、エリア内にある飲食店等を利用して、これが不便だな、とかこういう所はいいなと共感できる所に丸を付けました。
● グループのメンバーは市役所職員以外は、地元の方であった。エリアに求める地元の方の思うありがたい姿、機能と私が思うものと異なることはなかった。そのため、意識の変化については、何とも答えようがないのが正直なところ。市役所職員のメンバーがフレンドリーに地元の方に話かけていたので、地元の方も話がしやすかったのではないかな。
● 説明や挨拶が長く、グループで話をする時間が少ない(説明を聞かせるための会みたい。市長の説明くらいで良かった)
● 説明時間が長い(5~10分にしてほしい)/組織体制など情報量が多すぎ。途中から理解が追いつかなかった(「先程説明したとおり～」と言われてもどれのことかわからなかった)。全てが今日のワークショップに必要な情報ではなかったと思う

4. 印象的だったこと、参考になったこと

● いろんな世代の方が集まっていたので、いろんな視点や考えていること、気になっていることが違うところがおもしろかったし、参考になりました
● エリアごとで、一人一人の思いが良く解り参考になった
● 市長の熱い話が良かったです。市長の覚悟もすごく伝わりました。市役所職員・市民が市長の話を一緒に聞けるのは良い機会だと思いました
● 新玉名駅のビジネスホテル新設
● (グループ内)年代を問わず、集う場所を必要としているところ
● 新玉名駅周辺の事
● 「この地区にはこんな施設が必要だろうなあ」と思っていたが、グループの方々と話をしていくうちに、それは思い込みであると気づかされた。今回は大人だけで話したが、中高生などもまじえてまた話し合ってみたい
● 治安というワードが印象的でした。確かに飲み会の後に真っ暗の中歩いて帰ってもトラブルなく帰れるのは都会に無い部分だなと気付かされました。
● 地元の方は、気軽に人が集う機能をエリアには求められており、今後エリアの機能を考えるに当たり、人が集うにはということを深く考えていかなければならないと感じた。

5. 今後の参加希望



6. 自由意見

● まちづくりの興味のある友人をさそって参加しようと思いました
● 子ども達が遊べる場所が少ない、玉名駅周辺の整備など
● 今年度は全体、来年度は高瀬・駅前・温泉に絞った方が良い。その方が市民の参加も期待できる
● 一つ一つ形にしていけると良いと思います！
● 玉名市の職員も参加されていて、良い感じになっている
● やってみたいこと、できること というテーマはハードルが高すぎる
● 市町の最後の講評の動画を SNS で拡散してほしい！！
● ①「やりたいことが実現した理想的な玉名市(エリア)」というテーマが良かった。初めはぼんやりしていたが、自分の理想の生活を考えていくうちにワクワクしてきた。そのエリアに希望を持つことができた。ありがとうございます
● ②ワークショップで自分たちに求めている意見のレベル？(深さ？解像度？)に対して、やはり説明と資料が多すぎると思う。もっと話す時間をとってほしい。5～6人でまとめる作業まで入れると、30分だと1人あたりわずしか話す時間がないので
● 無理かもしれないけど、個人的には現状を 180 度変えるような使い方、用途があった方がいいと考えています。一度リセットするような。ちょっと危険な考え方かもしれませんが、これまでこういう場所だったから 20 年後はその用途でバージョンアップした場所ではなく、昔はこういう所だったけど今はガラッと変わったねと 20 年後に話しているような。